

こんにちは

Nice Town Good People

町会です

38号

私たちが暮らす中央区は、定住人口が順調に増え続け、まちはにぎわいと活気にあふれています。170を超える町会・自治会があり、祭りや町内の清掃、住人同士の親睦を深めるイベントの開催など、住みよい地域社会をつくるための活動は様々。「こんにちは町会です」は、そんな町会・自治会の活動を担う方々のまちへの思いをお伝えします。

今回ご紹介する町会・自治会

- 湊三丁目町会
- 日本橋浜二町会
- 月島三之部町会



湊三丁目町会



日本橋浜二町会



月島三之部町会

「こんにちは町会です」の
バックナンバーはこちら▶



町会・自治会

についてのお問合せは…

- | | | |
|------------------|----------|------------------|
| ■ 京橋地域 …………… | 区民部地域振興課 | TEL：03-3546-5337 |
| ■ 日本橋地域 …………… | 日本橋特別出張所 | TEL：03-3666-4251 |
| ■ 月島地域(晴海地区を除く)… | 月島特別出張所 | TEL：03-3531-1151 |
| ■ 月島地域(晴海地区)… | 晴海特別出張所 | TEL：03-3520-8096 |

町内の多彩なイベントをYouTubeで発信しています!!

湊三丁目町会 会長 櫻井 栄さん
さくらい さかえ

広報 山野井 明美さん
やまのい あけみ



櫻井会長



山野井さん

町内のみなさんに喜んでいただけるイベントを

船着場などを称する地名として知られる「湊」。その名のとおり、かつては現在の湊三丁目と佃一丁目との間を運航していた隅田川の渡し船があり、現在も湊三丁目の湊町第二児童遊園裏手に「佃島渡船場跡」の石碑が残されています。湊三丁目町会の町会事務所は、その湊町第二児童遊園の正面にあります。

湊三丁目町会にとって、2024年は思い出深い年になりました。6年ぶりに、鉄砲洲稲荷神社の本祭りが開催されたのです。本来であれば、3年に一度行われる本祭り。しかしコロナ禍により2021年はやむなく中止に。開催を待ちわびていた京橋四の部連合町会と五の部連合町会による神輿渡御には、合計12基の神輿と約3000人の担ぎ手が集いました。

連合町会での行事に加え、湊三丁目町会独自のイベントも活発に行われています。そのひとつが、年末恒例の餅つき大会。町会事

鉄砲洲稲荷神社本祭り



務所前の会場では杵を振るう大人だけでなく、子どもたちも一緒に楽しめるよう工夫を凝らしています。

「遊園地などによくあるポップコーンを作る機械を用意して、お子さんたちに振る舞っています。去年は300人分用意したのですが、あつという間になくなってしまいました」と目を細めるのは、生まれも育ちも湊三丁目という櫻井会長。その気前のよさは、夏の風物詩となっている納涼祭でも変わりません。

「我々の納涼祭は盆踊りをやらないかわりに、食べて飲んで楽しんでもらおうという趣旨で取り組んでいます。焼きそばもビールもびっくりするような値段で提供しています。もちろん利益なんてありません。けれども、お越しいただいた方に喜んでいただけたら何よりです」。



夏の風物詩 納涼祭

町会オリジナルのYouTubeチャンネルを開設

そうしたイベントを町内の方々へお知らせするうえで、昨年、心強い助っ人が加わりました。湊三丁目町会の広報を担当している山野井さんです。最初に取り組んだのは、地域の方々に対する町会への意識調査でした。

YouTube



年末恒例の餅つき大会

無料チケットプレゼント中
アンケートにご協力ください!



調査下さった方には納涼祭でご利用できる
無料チケットをプレゼントします!

2次元コードを活用したアンケート

取り組みをPRする上で、有意義な意見をたくさん頂戴することができました。

さらに、インターネットの動画メディアにも精通していた山野井さんは、湊三丁目町会のYouTubeチャンネル立ち上げに着手し、撮影から編集までのすべてを担当。まだ配信動画数は少ないものの、イベントの告知や参加者の募集などに有効活用されています。

今後の展望について「道ですれ違うときに会釈できる程度の『浅く広く』の関係が広がればいいな」と思い取り組んでいます。地域の方と深く関わるのは大変な面もあるけれど、顔見知りが多いほど安心ですからね。そんな「ゆるめざして活動していきたいと思います」と話す山野井さん。最後に櫻井会長がこのように締めくくってくださいました。

「これから地域の方々に『この町に住んでいてよかった』と思っていただけのようなイベントを行っています。ぜひ、ご家族みなさんでお気軽にご参加ください」。



ラジオ体操のイベント

所属する町会・自治会を調べる

中央区には、一流ブランド店や老舗、食のまちがある「京橋地域」、金融街や老舗百貨店などが連なる歴史ある「日本橋地域」、超高層マンションが立ち並び未来都市と下町情緒にあふれた路地が混在する「月島地域」の3つの地

域があります。そして、その中には143の町会と32の自治会が区域を分けて活動しています。お住いのご住所が所属する町会・自治会が分からないときは、「町会・自治会MAP」で確認してみてください。



町会・自治会MAP▲

日本橋地域

京橋地域

月島地域

私たちと一緒にこの町をもっと楽しみたい!!

日本橋浜二町会 会長 福田昭三さんと町会役員のみなさん

Facebook



前列中央が福田会長、後列右から
2番目が石井青年部長



30年以上続いている日帰りバス旅行

多彩なイベントで 町内のコミュニティを活性化

中央区で最も大きな公園である「浜町公園」と、地域の守り神として親しまれる「清正公寺」を町内に有する日本橋浜二町会。かつては多くの高級料亭が軒を並べ、大人が行き交う街として栄えました。

そんなかつての賑わいを偲ばせるかのように、日本橋浜二町会は年中行事が盛りだくさん。年明け最初のイベントは、お正月恒例の新年会。紋章上絵師として黄綬褒章を受章されている福田会長は「町会の親睦を深めるとともに、結束を強める貴重な場になっています」と開催の意義を語ります。

2月の目玉は、日帰りで楽しむバス旅行。30年以上も継続しており、最近では

5月の神田祭



3月に開催の餅つき大会

家族で参加する方も増えているとのこと。そして、3月には少し遅めの餅つき大会。もともとはお正月に行っていたものの、青年部からの「もう少し暖かい時期に」という提案でこの時期に変更されたそうです。



浜二納涼盆おどり大会

さらに5月には、日本三大祭りのひとつである神田祭。例年30万人以上の人が押し寄せるこのお祭りにも、日本橋浜二町会は古くから参加し続けています。夏の風物詩といえば、8月に浜町公園で行われる浜二納涼盆おどり大会。2024年は4年ぶりの開催になり、大いに盛り上がりました。



ゴノちゃん運動会

そして10月にはスポーツの日にちなみ、日本橋五の部連合町会の町会対抗で行われる「ゴノちゃん運動会」を開催。福田会長曰く、日本橋浜二町会は綱引きやソフトボールなどの競技で敵なしの強さを誇っているのだとか。12月は子どもたちと一緒に火の用心の夜警を行います。町内の防災に貢献しています。

SNSでイベントの現場から ライブ映像を配信

こうしたイベントを主導しているのが、総勢50名からなる青年部の面々。10年前からFacebookで町会の取り組みを発信し、イベントの際は現場からライブ映像を配信。人々の笑顔や歓声をリアルタイムで伝え、来場の促進、ひいては町会への興味喚起に努めてきました。

そうした取り組みが功を奏し、次第に若い世代の会員が増加。新しい住人にも分け隔てなく接した結果、あらゆる町会の課題となっているマンションに住む方々の取り込みにも成功しています。青年部のほとんどが、本業を持ちながらボランティアとして町会の運営に尽力。そのモチベーションの源をたずねると、石井部長をはじめ皆が「楽しいから」と口をそろえます。

「自分が町会のイベントに参加してみても楽しかったの、じゃあ次はお手伝いする側に回ってみようかな。今でも自分自身が楽しむことを何より大切にしています」という石井部長。負担は決して少なくないものの「昔のやり方にとらわれず、僕らの提案を柔軟に受け入れてくれる福田会長はじめ諸先輩方にはとても感謝しています」と年長者への敬意も忘れていません。

そんな青年部の姿勢を誰よりも頼もしく感じている福田会長が、将来への展望と希望を語ります。「彼らが町会を牽引してくれるおかげで、この先も日本橋浜二町会はまだまだ発展していくと信じています。これからも若い力と柔軟な発想を存分に発揮して、この町の未来を担っていただけたら幸いです」。

インターネットでまちの情報を知る

中央区ホームページでは、町会・自治会の区域や主な活動等を紹介している他、このホームページ経由で、町会・自治会に関する情報を発信するためのSNS（中央区町会・自治会ネット）の情報も見ることができます。

また、独自でSNSを立ち上げ、まちのイベント情報を発信している町会・自治会もあります。ぜひ、SNSで町会名・自治会を検索してみてください。



▲中央区ホームページ内
町会・自治会ページ



町会の未来を担う“若い力”をお待ちしています!!

月島三之部町会 会長 植村 利男さんと町会役員のみなさん

X (旧 twitter)



前列中央が植村会長



親子デーのかき氷

親子そろって
楽しめるイベントに力を入れて

月島三丁目1から12番および月島四丁目1から5番にお住まいの方々を対象に形成する月島三之部町会。再開発が進み高層ビルが建ち並ぶ月島において昔ながらの風情が色濃く残っており、月島第一児童公園などもあることから、今なお、のどかな雰囲気漂うエリアとなっています。

そのようなあなたにかい

霧囲気を残しつつも、地域のほとんどの方がマンションなど集合住宅に住まわれており、「町会に加入されていないマンションの方々はチラシのポスティングなどによりアプローチし、一人でも多くの方が町会に興味を持っていただけるよう役員が丸となって取り組んでいるところです」と

住吉神社例祭



話すのは、長く月島で着物屋を営んでいた植村会長。

そうしたPR活動の一環として力を入れているのが、親子で楽しめるイベントの開催です。そのひとつが、地域の方々には「真夏の祭典」としてお馴染みの親子デー。住吉神社例祭の本祭りが行われない年の8月に開催され、火災時の煙を体験できる本格的な防災イベントを実施しています。

しかし、会場に集う子どもたちのお目当ては、防災イベントだけではありません。夏のイベントにふさわしいかき氷や、塩分の摂取にも役立つポップコーンを無料で振る舞うほか、成功するとおもちゃやお菓子がもらえる輪投げなどのアトラクションも用意。「10時から12時まで2時間の開催にもかかわらず、2024年の親子デーは130名を超える来場者で賑わいました」と植村会長は言葉を弾ませます。



無料で振る舞うポップコーン

今後はSNSをより積極的に
活用していきたい

2025年1月には、冬の恒例行事が5年ぶりに再開しました。それは、36回目となる寒餅つき大会。本番に備え入念な予行演習を行うとともに、寒餅引換券付きのチラシを町会員に配布。会場の月島区民センター広場は寒さを吹き飛ばすような熱気に包まれました。

町会員の方々、町内に住む方々、さらには月島に足を運ぶすべての方との接点を増やすため、



寒餅つき大会

昨年にはSNSのX (旧 twitter) に月島三之部町会のアカウントを開設。3年に一度の住吉神社例祭本祭りの告知を大々的に行いました。

植村会長は「住吉神社例祭の告知を目的に開設しましたので、残念ながら現在は更新が滞っています。しかし、親子デーや寒餅つき大会など町会独自のイベントも開催しておりますので、これからはもっと積極的に活用していけたらいいですね」と今後の展望を述べます。

国内はもちろん海外からも多くの観光客が集まる月島エリア。いつまでも魅力的な町であり続けるためには、町会に新しい風を吹かせてくれるような「若い力」が必要と役員のみなさんは口をそろえます。

「たとえばマンションの管理組合で役員をやられているような方に町会の役員を担っていただけたらうれしいですね。そうすればマンションの方々の接点も生まれますし、この町全体がさらに活気づくはずですよ」。

町会役員の三谷久夫さんがペットのリクガメ・ボンちゃんと月島西仲通り商店街を練り歩き、道ゆく人と記念撮影をする光景は町内の名物。これからもこの町が、訪れる人からも暮らす人からも愛され続けることを願ってやみません。



町会名物のリクガメ ボンちゃん

まちかどでまちの情報を知る

まちかどの掲示板では、区政情報だけでなく、みこしの担ぎ手募集や餅つき大会の日などに、四季折々の情報にあふれています。ちょっと立ち止まって見ると、あなたがときめく出会いがあるかも。

令和元年台風15号による千葉県の大規模停電の際、通信障害が発生し、インターネットなどを利用した連絡・情報取得手段が使用できない中、まちの掲示板がオフラインでも活用できる連絡手段として活躍した事例もありました。

